

若者流出防ぐ対策を

管内17市町村 消滅の可能性指摘

増田レポート

民間有識者でつくる日本創成会議の人口減少問題検討分科会（座長・増田寛也元総務相）が、将来的に全国の896（道内は147）市区町村が消滅する可能性があると指摘した、いわゆる「増田レポート」。オホーツク管内でも18市町村のうち17市町村が消滅可能性があるとされた。

（金子俊介）

昨年5月発表の同レポートは、子供を産む世代の中心である若い女性（20～39歳）の2010～40年の人口推計に注目。この人口が減り続けると、いくら「合計特殊出生率」（女性1人が生涯に産む子供の平均数）を引き上げても、若い女性の流出によるマイナス

効果が上回るため、人口減少が止まらないとした。

試算のベースは国立社会保障・人口問題研究所のデータ。同研究所が、地方から都市部への人口移動は将来ある程度収束すると予測しているのに対し、レポートでは移動が収束しないと仮定して独自推計した。

こうして40年までの30年間で若い女性が5割以上減少すると試算された自治体については、このままでは将来消滅する可能性があるとし、特に40年時点で総人口が1万人を切る自治体は

は、試算に照らすと、管内では17市町村だった。最大は津別町の76・3%で、北見市でも56・2%。このうち12町村が40年時点で人口1万人を切ると示された。唯一消滅可能性が指摘されなかった斜里町について、道は「観光宿泊業に若い女性の就業先があり、1次産業もしっかりしていることが影響しているのではない

同レポートでは、こうした試算を踏まえ、国家戦略として、人口減少の最大要因である大都市圏（特に東京圏）への若者の流出を食い止めるダム機能を作り直す必要があると指摘。「選択と集中」の考えの下、管内では北見市が想定されるような地方中核都市に資源や政策を集中的に投入し、人と仕事を集める拠点とすべきだなどと提言した。

人口減少問題に警鐘



日本創成会議試算によるオホーツク管内の若い女性の人口減少率（2010～40年）

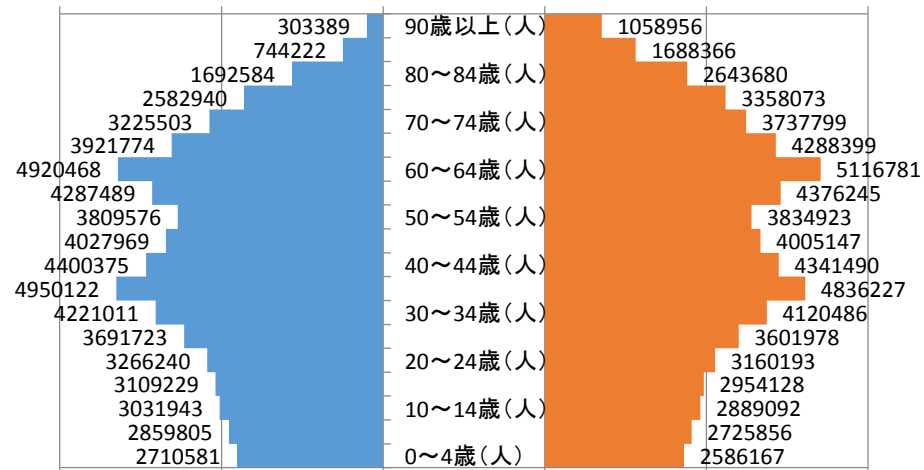
津別町	-76.3%
滝上町	-72.4%
紋別市	-66.4%
訓子府町	-65.6%
大空町	-64.9%
清里町	-63.5%
置戸町	-61.8%
小清水町	-60.8%
美幌町	-60.0%
湧別町	-59.5%
北見市	-56.2%
西興部村	-55.9%
雄武町	-54.9%
遠軽町	-54.5%
興部町	-52.3%
佐呂間町	-51.8%
網走市	-51.2%
斜里町	-49.0%

消滅可能性があると考えられた自治体
消滅可能性が高いと考えられた自治体

全国 2010年 人口ピラミッド

■男 ■女

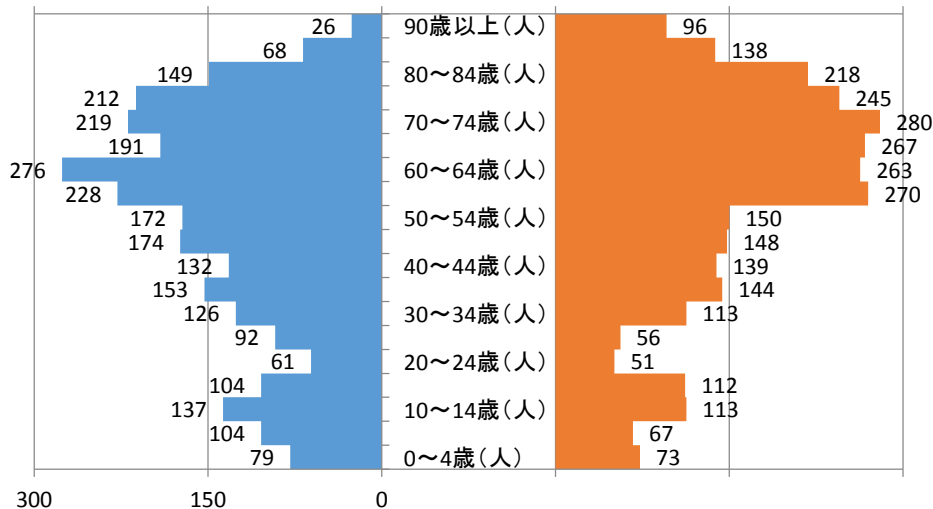
0 3,000,000 6,000,000



津別 2010年 人口ピラミッド

■男 ■女

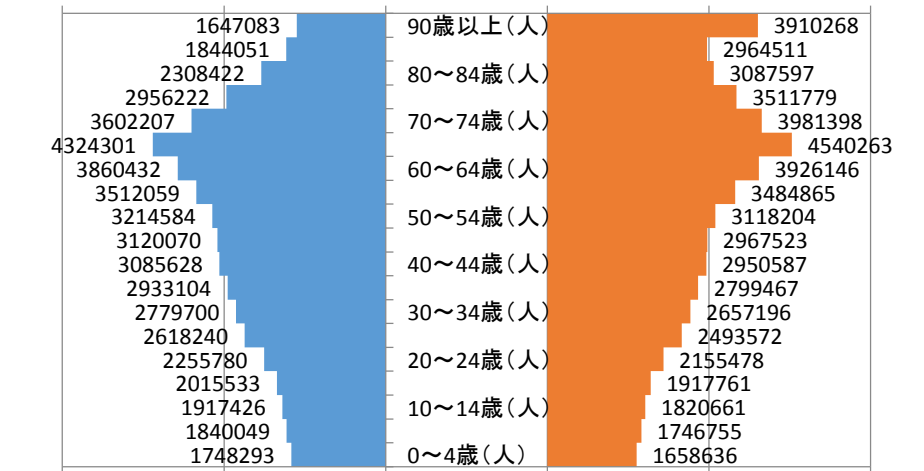
0 150 300



全国 2040年 人口ピラミッド

■男 ■女

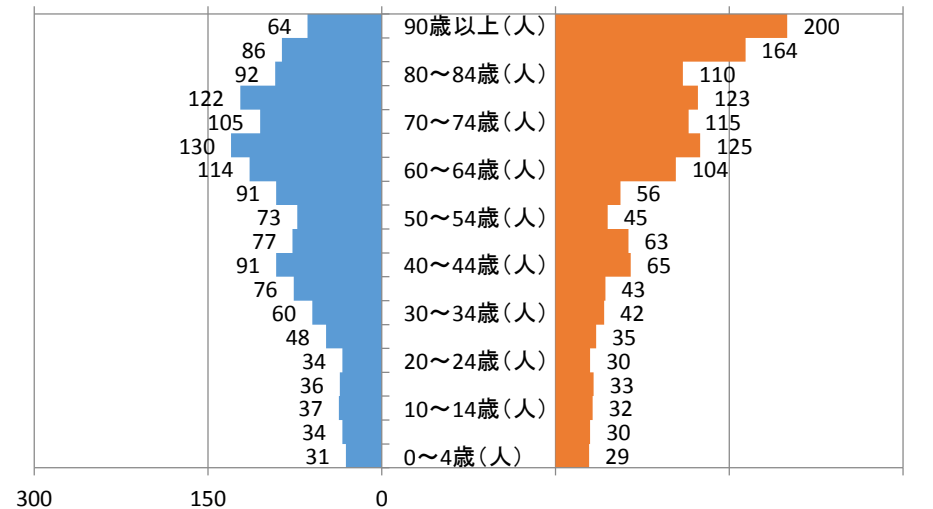
0 3,000,000 6,000,000



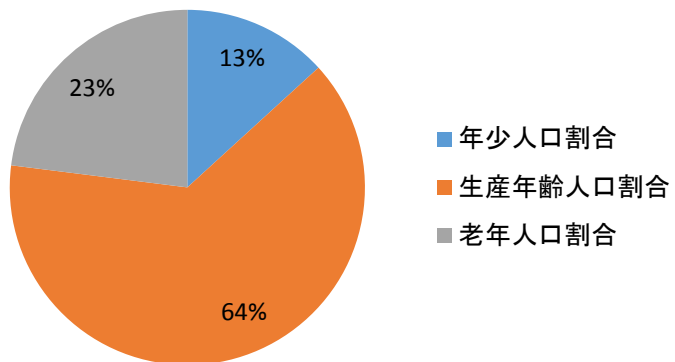
津別 2040年 人口ピラミッド

■男 ■女

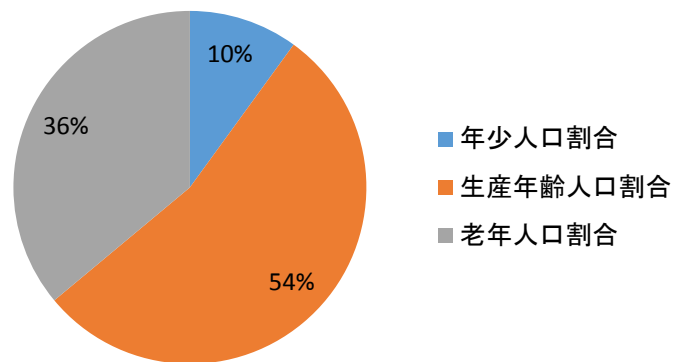
0 150 300



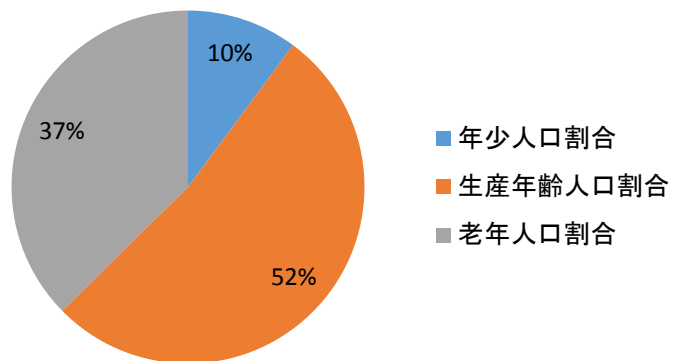
全国 2010年 人口割合



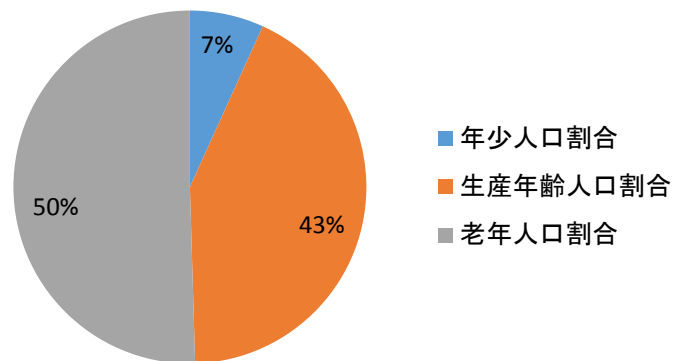
全国 2040年 人口割合



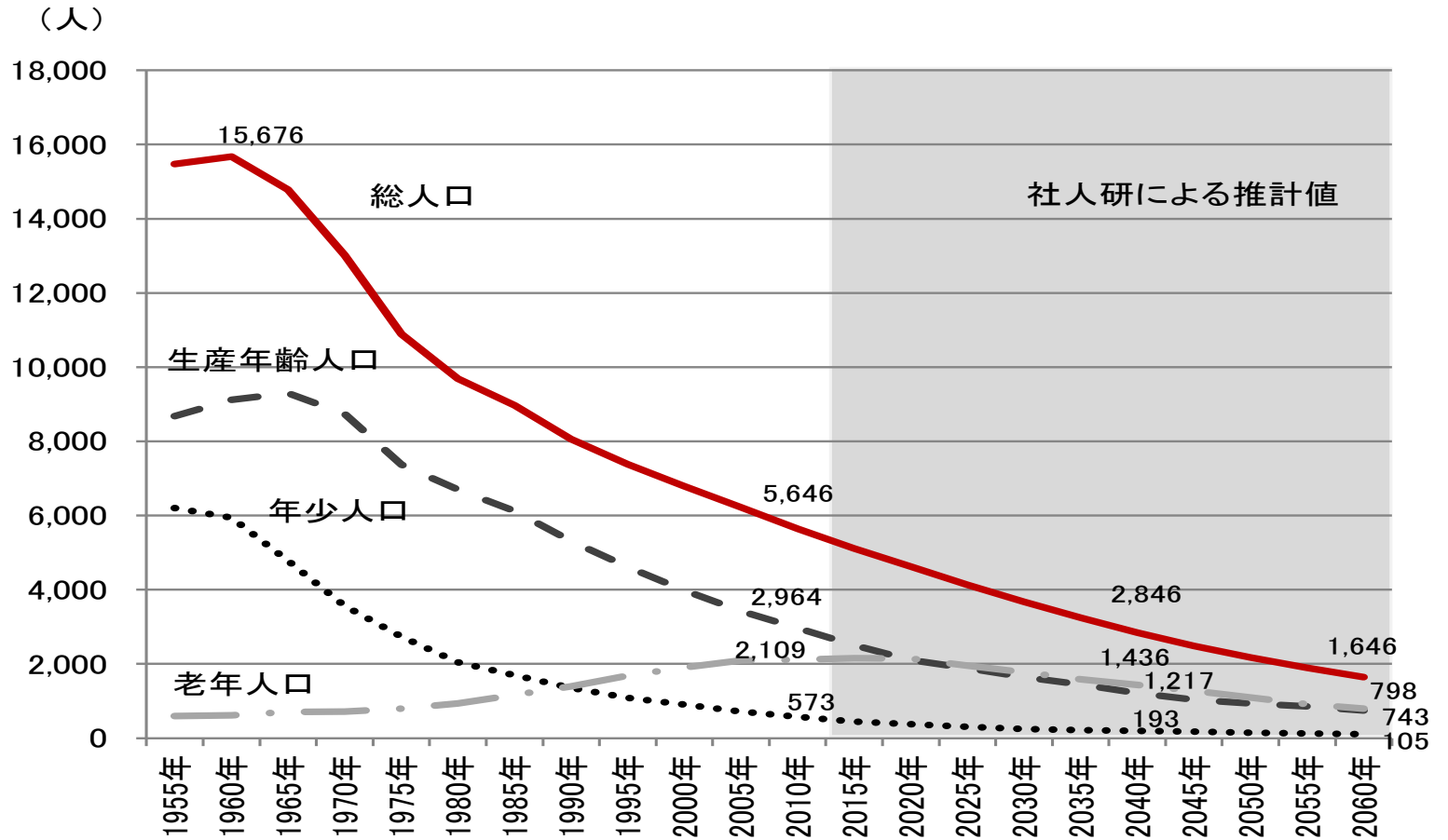
津別 2010年 人口割合



津別 2040年 人口割合



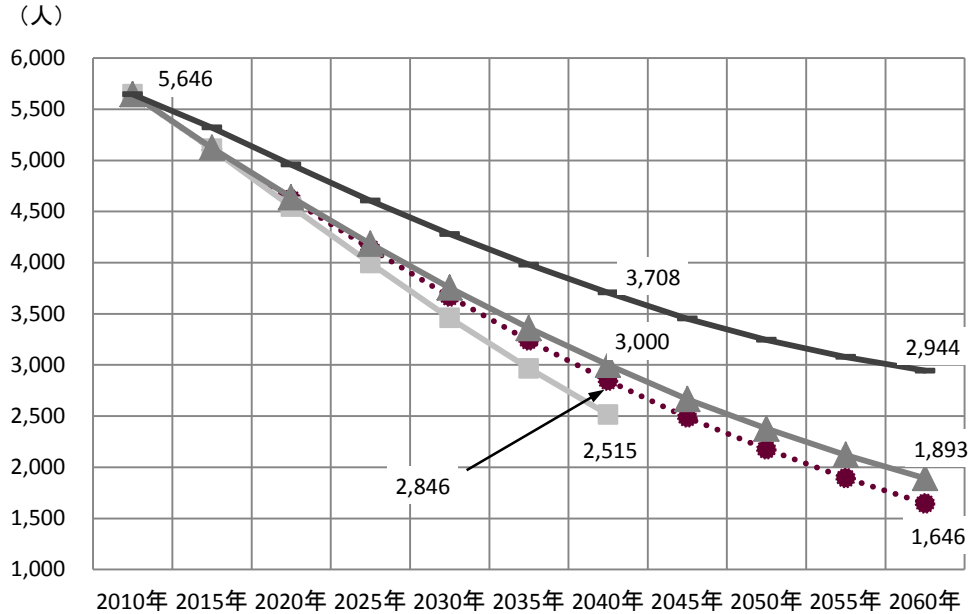
津別町人口ビジョン



(単位:人)

年代	1960年		1980年		2010年		2040年	
総人口	15,676	100.0%	9,685	100.0%	5,646	100.0%	2,846	100.0%
年少人口	5,944	37.9%	2,044	21.1%	573	10.1%	193	6.8%
生産年齢人口	9,115	58.1%	6,703	69.2%	2,964	52.5%	1,217	42.8%
老年人口	617	3.9%	938	9.7%	2,109	37.4%	1,436	50.5%

津別町人口ビジョン



- パターン1(社人研推計準拠):総数人口
- パターン2(民間機関推計準拠):総数人口
- ▲— シミュレーション1(パターン1+出生率上昇):総数人口
- シミュレーション2(シミュレーション1+転入と転出が均衡):総数人口

	合計特殊出生率	転入数(人)	転出数(人)	転入数-転出数(人)
パターン1 ※このまま何もしなければ...	1.5 (2010年実績)	135 (2012年実績)	229 (2012年実績)	-94 (2012年実績)
シミュレーション1 ※出生率だけ改善したならば	2.1 (+0.6)	135 (2012年実績)	229 (2012年実績)	-94 (2012年実績)
シミュレーション2 ※出生率が改善し、転入数と転出数が均衡したならば	2.1 (+0.6)	135 (±0)	135 (-94)	0 (+94)
		229 (+94)	229 (±0)	0 (+94)
		182 (+47)	182 (-47)	0 (+94)

津別町の現状

人口5,143名(2015.7)

高齢化率41.26%(2015.7)

出生数 年間28名 死亡93名

自然増減 Δ 65名 (2014)

学校数 小学校1、中学校1、高校1

2010=年少人口:573人 \div 15 \doteq 38人

11~12歳

2040=193人 \doteq 13人 41~42歳 子

2060=107人 \doteq 7人 61~62歳 孫

町の現状・課題とその方策

- 1 高齢化率40%超過
- 2 人口減少
- 3 若い世代の人口減少
- 4 少子化
- 5 雇用者減少
- 6 良質な住宅

- 1 死亡者は減らせないが、出生数と社会増を目指す
- 2 同上
- 3 雇用創出、町の魅力UP、UJIターン増加、結婚増
- 4 切れ目のない結婚、出産、子育て支援、家庭教育の推進
- 5 雇用創出
- 6 若者が住みたくなる住宅

地方創生

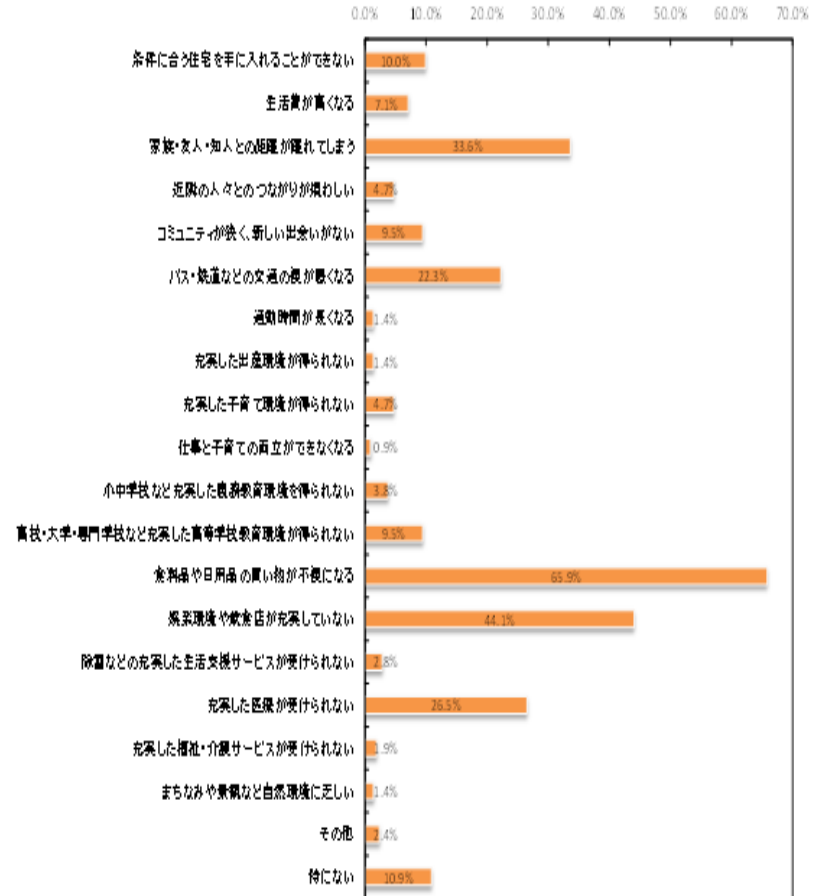
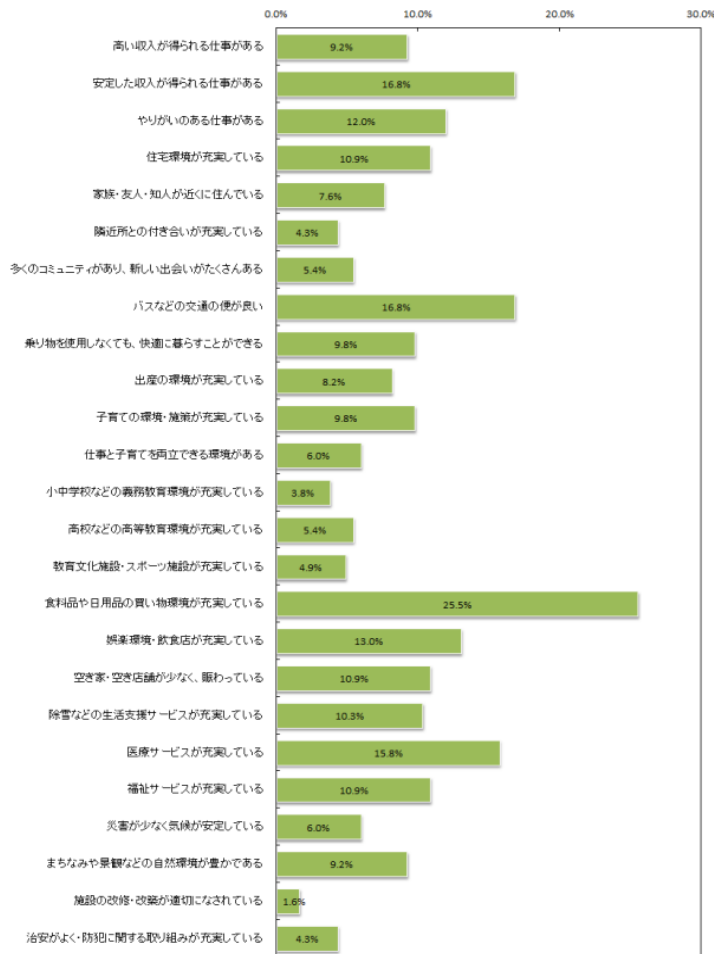
基本目標Ⅰ 地方における安定した雇用を創出する。

基本目標Ⅱ 地方への新しいひとの流れをつくる

基本目標Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本目標Ⅳ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

アンケートのほんの一部



津別町について感じていることの維持・改善の希望

津別町へ移住した場合のデメリット